

2012年 8月29日

防衛大臣
森本 敏 様

北海道平和運動フォーラム
代表 江本 秀 春
代表 中村 誠 吾
平和運動フォーラム石狩地域協議会
代表幹事 山口 歩
代表幹事 丸岡 久 信
札幌平和運動フォーラム
代表幹事 佐藤 聡 之
代表幹事 高桑 史 嘉
代表幹事 高久保 陽 一
代表幹事 立花 哲 也

千歳基地への米軍戦闘機訓練移転に抗議し、中止を求める要請

防衛省は8月27日、千歳基地において9月5日から7日まで、在日米軍再編に係る米軍F A 1 8戦闘機訓練を実施することを発表しました。私たちは、この訓練移転に対し強く抗議するとともに、直ちに中止するよう要請します。

在日米軍再編に係る嘉手納基地訓練の一部移転・分散は、沖縄の負担軽減とされていますが、今回の訓練には米軍岩国基地からの戦闘機で実施されます。また、移転訓練の強行以降、沖縄嘉手納基地には国内外の米軍基地より飛来した戦闘機は従前を大幅に上回るなど、訓練が強化されており、沖縄の負担軽減とはなっていません。また、千歳基地における移転訓練の強行により、爆音・騒音被害がすでに道民にもたらされ、将来、墜落事故や大きなトラブルなどが起きるのではないかと不安を持たざるを得ません。

軍事訓練移転の強行は、平和を求める多くの国民の願いを踏みにじるだけでなく、日本国憲法に反するものであり、断じて容認できるものではありません。日米新ガイドライン成立後、米海兵隊の矢臼別実弾砲撃移転訓練、道内民間港への度重なる米海軍艦船の強行入港など、米軍による北海道での訓練強化は、在日米軍基地の縮小・撤去を求める道民の願いに逆行するものです。

また、日米両政府は、辺野古への新基地建設に固執し、普天間基地については、「代替施設の移設完了まで補修し使用する」として、継続使用・固定化を目論んでいます。市民・沖縄県民の圧倒的多数が反対しており、計画の撤回・普天間基地の即時撤去・返還を強く求めるものです。

さらに、米政府は、これまでに7度も墜落事故を起こしている垂直離着陸機MV-22オスプレイを普天間基地に配備し、全国6ルートで危険な低空飛行訓練を実施するとしています。これに対し日本政府は、米政府の配備計画を容認していることは断じて容認できるものではありません。

私たちは、武力による国際紛争の解決を永久に放棄すると定めた日本国憲法を遵守し、平和な国際社会の実現に向け、全ての軍事基地の整理・縮小・廃止を進めていくことが重要と考えています。

以上のことから、貴職に対して次の事項について強く要請いたします。

<要請事項>

1. 千歳基地への米軍戦闘機訓練移転の撤回をすること。また、9月5日から予定されている訓練を直ちに中止すること。
2. 辺野古への新基地建設計画を撤回するとともに、在日米軍基地の縮小・撤去を早急に行うこと。
3. 米政府に対して、MV-22オスプレイの普天間基地への配備・低空飛行訓練の撤回を要求すること。

以 上